

INDONESIA

『サタンジャワ』
ガリン・ヌグロホ・
アピチャップン・ウィーラセタクンの
初期傑作を上映!
(『フィーバー・ルーム』)



ガリン・ヌグロホ ©佐藤基

アピチャップン・ウィーラセタクン

2019
6/21 (金) 16:30-21:00 開場 16:00

上映プログラム

『真昼の不思議な物体』 (監督:アピチャップン・ウィーラセタクン/タイ/2000年/83分)

『天使への手紙』 (監督:ガリン・ヌグロホ/インドネシア/1993年/118分)

トークショー

ゲスト: 森永泰弘 (『サタンジャワ』サイレント映画+立体音響コンサート)音楽・音響デザイン)
金子遊 (映像作家、批評家)

会場:アテネ・フランセ文化センター 主催:国際交流基金アジアセンター
入場無料(予約不要)定員130名(先着順)

タイインドネシア

映画における
フォークロアとファンタジー

『サタンジャワ』サイレント映画+立体音響コンサートプレイベント

& THAILAND



サイレント映画+立体音響コンサート
『サタンジャワ』
ガリン・ヌグロホ × 森永泰弘 × コムアイ

モノクロの神秘世界に漂う
ジャワ島のサタンが、
立体音響のなかで浮かび上がる

2019
7/2 (火) 14:00 開演 19:00 開演 (2回公演)

会場:有楽町朝日ホール
主催:国際交流基金アジアセンター
共催:公益財団法人ユニジャパン 後援:駐日インドネシア大使館
[料金] 前売:3,000円/当日:3,500円/25歳以下:2,000円(当日要証明書)
チケット取扱い:チケットぴあ、e+(イープラス)、Peatix(ピーティックス)
<https://asia2019.jfac.jp/>



Photo by Erik Wirasakti

〈響きあうアジア2019〉『サタンジャワ』サイレント映画+立体音響コンサート』のイベントとして、ガリン・ヌグロホ監督(インドネシア)の初期傑作『天使への手紙』を上映します。トークショーでは『サタンジャワ』サイレント映画+立体音響コンサート』の音楽・音響デザインの森永泰弘氏と批評家・金子遊氏をゲストに迎え、進行中の音楽制作のプロセスやガリン・ヌグロホ監督の作品世界について語っていただきます。あわせて、〈響きあうアジア2019〉『フィーバー・ルーム』東京公演を控えるアビチャップン・ウィーラセタクン監督(タイ)の長編第一作『真昼の不思議な物体』も上映します。

上映プログラム (全2プログラム・35mmフィルム上映・日本語字幕付き)



『真昼の不思議な物体』

監督:アビチャップン・ウィーラセタクン
タイ/2000年/モノクロ/35mm/83分
フィルム提供:山形国際ドキュメンタリー映画祭

撮影クルーはタイ北部から南下しながら、出会った地元の人々にそれぞれの言葉で「足の悪い少年と家庭教師の話」という物語を次々と語らせ、演じさせてゆく。山形国際ドキュメンタリー映画祭インターナショナル・コンペティション優秀賞・NETPAC特別賞ほかを受賞したアビチャップン・ウィーラセタクン監督の長編第1作。



『天使への手紙』

監督:ガリン・ヌグロホ
インドネシア/1993年/カラー/35mm/118分

スンバ島の古い習慣が残る村に住む少年ルフは、悩み事があると天使に手紙を書き、返事を受け取る。やがて他の村との争いが勃発する。ドキュメンタリー・タッチの力強い映像が評価され、第7回東京国際映画祭ヤングシネマ部門ゴールド賞受賞をはじめ、多くの映画祭で世界的名声を確立したガリン・ヌグロホ監督の長編第2作。

トークショー ゲスト

森永泰弘(『サタンジャワ』サイレント映画+立体音響コンサート)音楽・音響デザイン)
金子遊(映像作家、批評家)

6/21(金) タイムテーブル

※入場無料(予約不要)

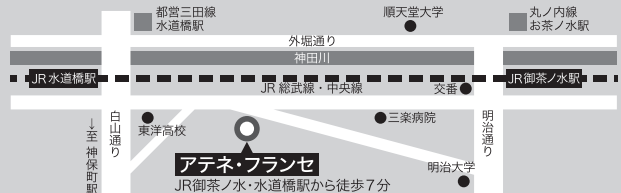
16:30- 『真昼の不思議な物体』上映(83分)
18:30- 『天使への手紙』上映(118分)
20:30- トークショー(30分)

ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION

お問い合わせ: jfac_film@jpf.go.jp (担当:高橋、森宗)
TEL 03-5369-6140 (平日10:00-18:00)
主催:国際交流基金アジアセンター

<https://jfac.jp/culture/>

会場:アテネ・フランセ文化センター <http://www.athenee.net/culturalcenter>



東京都千代田区神田駿河台2-11 アテネ・フランセ 4F TEL. 03-3291-4339(13:00-20:00)

〈響きあうアジア2019〉東南アジア映画の巨匠たち



『サタンジャワ』のガリン・ヌグロホ監督をはじめ、東南アジア界を牽引し、世界的に活躍する巨匠が一堂に会する貴重な特集上映&シンポジウムを実施。

7月3日(水) シンポジウム 東京芸術劇場 ギャラリー1

7月4日(木)→10日(水) 映画上映 有楽町スバル座

主催:国際交流基金アジアセンター
共催:公益財団法人ユニジャパン

※詳細は5月29日に「響きあうアジア2019」公式サイトにて発表予定。

<https://asia2019.jfac.jp/>

【関連上映】世界映画紀行 東南アジア編

ガリン・ヌグロホ作品、アビチャップン・ウィーラセタクン作品の上映有り!

6月22日(土) 23日(日)

『一切れのパンの愛』(ガリン・ヌグロホ監督/インドネシア/1991年)
『悪夢の香り』(キドラット・タビミック監督/フィリピン/1977年)

主催:会場:川崎市市民ミュージアム 協力:国際交流基金アジアセンター
※時間・料金・アクセス情報などの詳細は公式サイトをご確認ください。

8月24日(土) 25日(日)

『シアター・プノンペン』(ソト・クォーリーカー監督/カンボジア/2014年)
『光りの墓』(アビチャップン・ウィーラセタクン 監督/タイ他/2015年)

<https://www.kawasaki-museum.jp/>